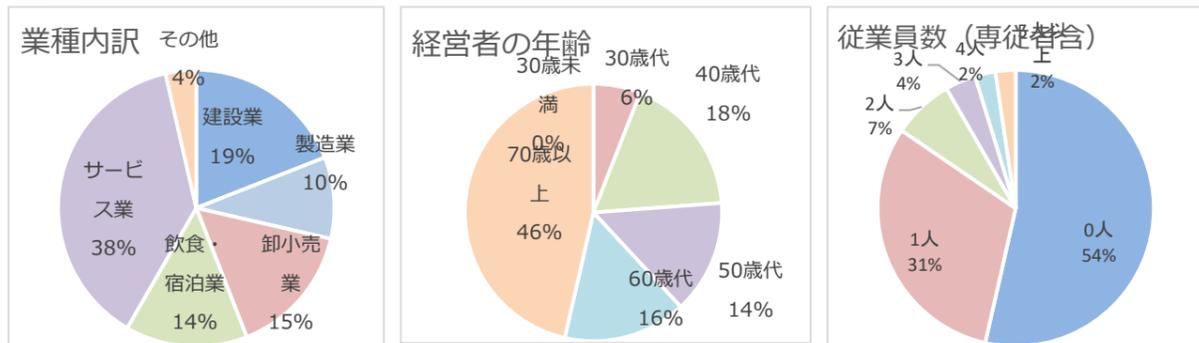


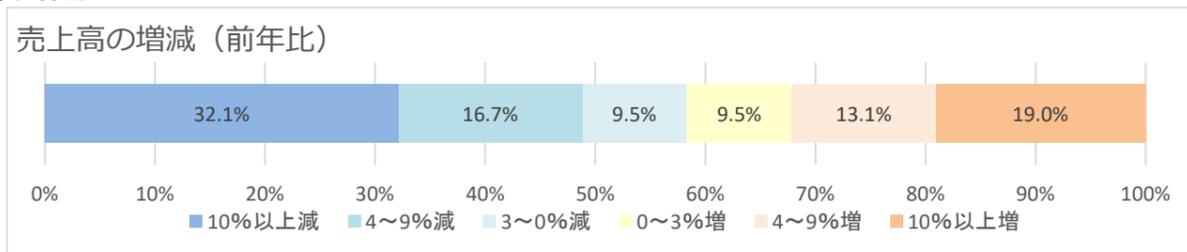
西那須野商工会管内 景気動向調査報告書【2021年】

■ 回答者の属性



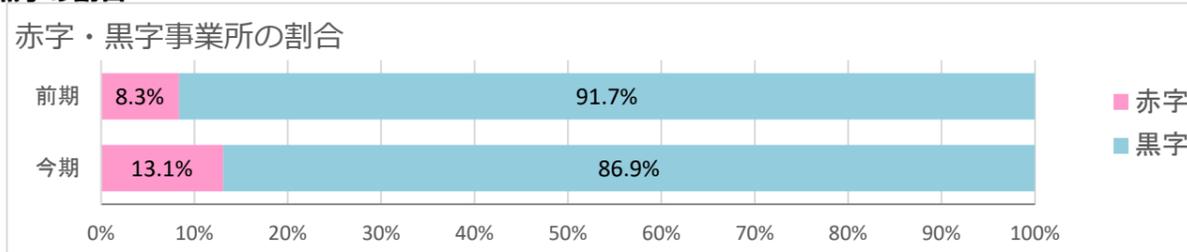
2022年1月～3月にかけて税務申告支援を行った84事業所（建設業16、製造業8、卸小売業13、飲食・宿泊業12、サービス業32、その他3）に対し調査を行った。

■ 売上高の増減



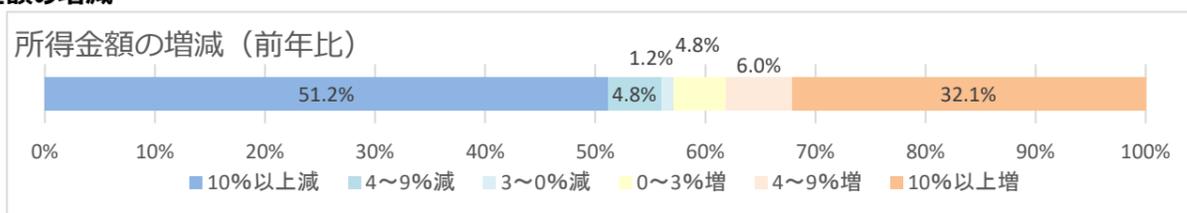
昨年に比べ売上が増加した事業所が41.6%に対し、減少が58.3%と半数以上の事業所が減少した。昨年に続き、10%以上減少と10%以上増加の割合が多い。

■ 赤字・黒字の割合



前々期より赤字事業所の割合が増加している。今期は新型コロナウイルス感染症の感染者が一気に増加し、外出制限・移動制限などの期間が長期化したことによる売上減少が影響している。

■ 所得金額の増減



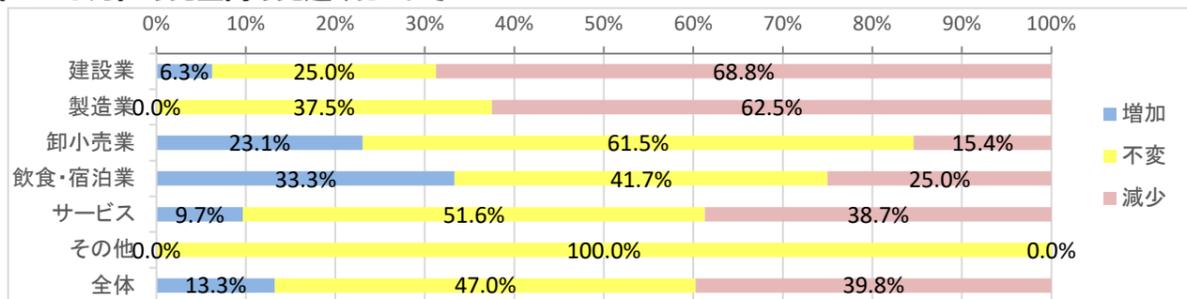
所得金額が減少した事業所は57.2%となった。売上減少の事業所とほぼ同数のため、売上減少が所得の減少に直結している。

■ 最近の経営上の問題点

| | | |
|-----|---------|----|
| 第1位 | 売上減少 | 33 |
| 第2位 | 需要の停滞 | 32 |
| 第3位 | 仕入価格の上昇 | 14 |

昨年に続き、『売上減少』や『需要の停滞』が最近の経営上の問題として挙げられている。また、コロナの長期化で生産体制が不安定となっているため『仕入価格の上昇』も大きな問題となっている。

■ 今後（4～8月）の売上高の見込みについて



今後（4～8月）の売上高については、全体の13.3%が増加を見込んでいるものの39.8%が減少を見込んでいる。特に、製造業が68.8%、卸小売業が62.5%の売上減少を見込んでおり、ものづくりの現場において、顕著である。要因として原材料の入手が困難になっていることが挙げられる。

■ 今後の経営課題について

| | | |
|-----|------------|----|
| 第1位 | 諸経費の削減 | 28 |
| 第2位 | 販路開拓 | 27 |
| 第3位 | 商品・サービスの充実 | 19 |

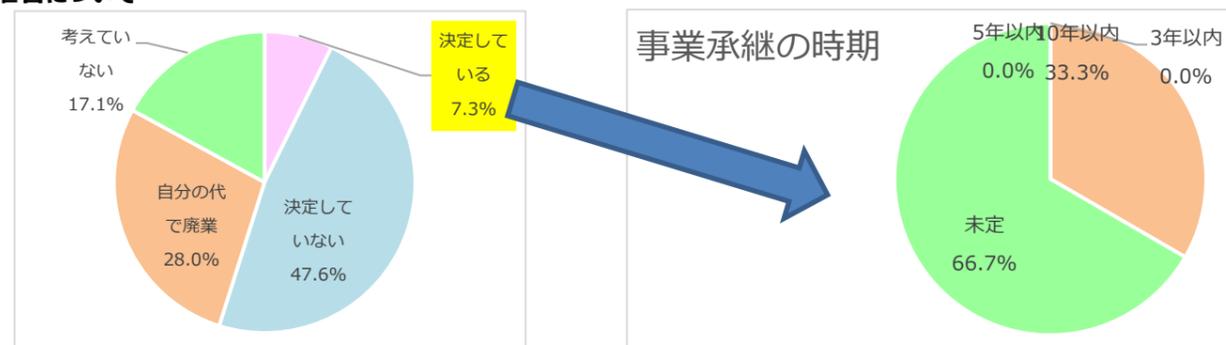
『諸経費の削減』が今後の経営課題として第1位に挙げられ、第2位に『販路開拓』が挙げられていることから、売上減少が一番の要因であると考えられる。

■ 経営課題解決に向けた支援策について

| | | |
|-----|------------|----|
| 第1位 | 補助金・助成金の申請 | 42 |
| 第2位 | 販路開拓支援 | 17 |
| 第3位 | その他 | 13 |

今後の経営課題の解決に向けた商工会の支援策では『補助金・助成金の申請』が第1位となっており、第2位の『販路開拓支援』の施策として小規模事業者持続化補助金の利用を強く進めていくことで課題の解決を行っていく必要がある。

■ 後継者について



後継者について調査対象84者のうち、決定している事業者は6者（7.3%）しかおらず、今後、事業承継について積極的に推進していく必要がある。また後継者が決定しているものの承継時期が未定の事業所も6割おり、早期の承継を進めていく。